

修士論文（要旨）
2015年1月

中国人留学生の「若者言葉」に対する意識についての考察

指導 堀口純子 教授

言語教育研究科
日本語教育専攻
213J3011
周哲

Master's Thesis(Abstract)
January 2015

Features of the Perception of Youth Language : A Study Focusing on Chinese
International Students in Japan

Zhou Zhe
213J3011

Master's Program in Japanese Language Education
Graduate School of Language Education
J.F.Oberlin University
Thesis Supervisor:Sumiko Horiguchi

目次

第1章	はじめに	1
1.1	研究背景	1
1.2	研究動機	1
1.3	研究目的	1
第2章	「若者言葉」の定義付け	2
2.1	先行研究	2
2.1.1	先行研究による定義	2
2.1.2	現代の「若者言葉」	3
2.2	本研究における「若者言葉」の定義	3
第3章	アンケート調査と考察	3
3.1	調査概要	3
3.2	分析	4
第4章	フォローアップインタビュー調査と考察	13
4.1	調査概要	13
4.2	調査結果の分析および考察	13
4.2.1	協力者Rの場合	13
4.2.2	協力者Cの場合	20
4.2.3	協力者Kの場合	25
第5章	総合的考察	35
5.1	「若者言葉」に対する意識の成因	35
5.1.1	日本語を学び始めたきっかけ	35
5.1.2	周囲の影響——クラスメイト，同僚	36
5.2	「若者言葉」に対する意識	37
5.2.1	「若者言葉」と日本文化	37
5.2.2	「若者言葉」への態度——肯定的か否定的か	37
5.2.3	「若者言葉」の使用について	38
5.2.4	「若者言葉」の授業中での扱い方についての態度	39
5.3	日本語教育への示唆	39
第6章	まとめ及び今後の課題	39
6.1	アンケート調査から得た結論	39
6.2	フォローアップインタビューから得た結論	40
6.3	今後の課題	41
	参考文献	
	添付資料	

【キーワード】 若者言葉， 中国人留学生， 意識

要旨

第1章 はじめに

近年日中の政治， 経済また文化の交流が深まる中， 日本語を学習し， 来日する中国人が益々増えてきている。 来日した中国人学習者が接触するのはキャンパスで出会う日本人大学生や， アルバイト先の学生や若者達であり， 日本の若者言葉との接触も多い。 留学生として日本語を学ぶからには， できるだけ様々な領域の言葉と接触したほうが役に立つと言えるが， 教科書で学習した言葉との違いに戸惑うことも多い。 しかし， 日本人の「若者言葉」に対する考えの調査は多く出ているものの， 留学生の「若者言葉」に対する考えの調査は見当たらない。

本研究では日本留学中の中国人日本語学習者の「若者言葉」に対する考えと意識を調査し， 以下の疑問を明らかにし， 考察した。

- ① 中国人留学生は「若者言葉」に触れた時どう感じているのか。
- ② 中国人留学生は「若者言葉」を使うことに抵抗があるか。
- ③ 中国人留学生は「若者言葉」を失礼な言葉だと思っているのか。
- ④ 中国人留学生は「若者言葉」に対してどのような態度を取っているのか。
- ⑤ 中国人留学生は授業中に「若者言葉」に触れたいと思っているのか。

第2章 先行研究

「若者言葉」についての研究の中で米川（1996）は次のように述べている。

若者語とは中学生から30歳前後の男女が， 仲間内で， 会話促進・ 娯楽・ 連帯・ イメージ伝蔽・ 緩衝・ 浄化などのために使う， 規範からの自由と遊びを特徴に持つ特有の語や言い回しである。 個々の語について個人の使用， 言語意識にかなり差がある。 また時代によって違う。 若者ことばともいう。（p. 14）

本研究では米川（1996）に基づき， 若者言葉の定義を「10代もしくは20代の若者たちが仲間同士で連帯感を高め， 会話を盛り上げるために用いられ， また使用における個人差が激しく， 時代によって異なる言葉である」とした。

第3章 アンケート調査と考察

本調査の実施に当たり， まず予備調査を行ったが， 特に問題がなかったため， 予備調査と本調査のデータを同等の調査対象として扱った。 また， 分析は30名の協力者の属性， 特に日本語を学び始めたきっかけを見ながら行った。

アンケート調査から得られた30名協力者の「若者言葉」に対する意識は， 否定的な感情があまりなく， 使うことへの抵抗も少ないが， はっきり肯定的か否定的か言えないという結果であった。 また， 知りたいと思うが， 授業中などに学びたいとは思っていないことも一つの意識として浮かび上がった。

第4章 フォローアップインタビュー調査と考察

アンケート調査では、「若者言葉」について協力者が具体的にどう認識しているかまで追究できなかったため、男性1名と女性2名にフォローアップインタビューを実施した。

インタビューで得られた協力者3名の「若者言葉」に対する意識は様々であったが、主な結果として、女性2名が「若者言葉」を日本人が話す日本語であり、相手との親しい関係を表す言葉だと思っていることがわかった。また、2人とも間違っている言葉だと思っていないこともわかった。これに対し、「若者言葉」に興味を示さない男性1名は、「若者言葉」を日本語の中の余計な言葉であり、外国人に必要なないと思っていた。

第5章 総合的考察

協力者30名の「若者言葉」に対する意識の成因及び「若者言葉」に対する意識についてより深く考察したところ、「若者言葉」に対する意識の成因に関しては、日本語を学び始めたきっかけの影響が大きいことがわかった。協力者の女性2名の結果からは、周囲のクラスメイトとアルバイト先の同僚の態度も一つの原因であることがわかった。また、中国の大学で日本語を学習した協力者の場合、「若者言葉」を軽視する中国の大学の日本語教師の影響も少なくないことがわかった。

第6章 まとめ及び今後の課題

本研究第1章で掲げた5項目の研究課題についての結果は次のようなものだった。協力者には「若者言葉」への否定的な感情や使うことへの抵抗があまりなかった。但し、あまり丁寧な言葉だとは思っておらず、使う相手を選んでいるようだった。「若者言葉」を知っている方がいいとは思っているが、教科書などで学ぶ必要はないと考えていた。

アンケートだけでなく、インタビューからも、学習のきっかけが日本文化への興味である場合、それが「若者言葉」への肯定的な評価に結び付いていることも確認された。更に、「若者言葉」の受容や使用に関わる周囲の環境が、学習者の「若者言葉」への態度に大きく影響していることもわかった。

しかし、インタビューが3人しかできなかったため、協力者全員の考えを把握し尽くせなかった。また、アンケート調査についても設問や選択肢の作り方に不足したところが多くあることがわかった。これらの改善を今後の課題とし、日本で学ぶ中国人学習者の「若者言葉」に対する考えをより明確に把握したいと思っている。

参考文献

- 浅見緑 (2008) 「どこまでわかる『若者ことば』」『大阪経済法科大学総合科学研究所年報』第 27 号. pp119-123
- 井上史雄 (2002) 「方言とことばの乱れ——イッコウエの普及——」『月刊言語』. 第 31 巻第 9 号. pp. 44-47
- 猪野健治 (1998) 『現代若者コトバ辞典——この一冊でワカモノの思想がわかる』日本経済評論社
- 梶原しげる (2008) 「若者言葉を考える」『児童心理』. 第 62 巻第 13 号. pp. 58-64
- 小矢野哲夫 (1993) 『女子大生用語の基礎知識 1993 年版』
- 小矢野哲夫 (1996) 「現代若者ことば考」『ユースネットワーク』(ユースサービス大阪) 2 月号
- 小矢野哲夫 (1999) 『ワードウォッチング——現代語のフロッピー』
- 小矢野哲夫 (2007) 「若者ことばと日本語教育」『日本語教育』第 134 号
- 永瀬治郎 (1999) 「語の盛衰——キャンパス言葉の寿命——」『日本語学』第 18 巻第 10 号. pp. 14-24.
- 永瀬治郎 (1999) 「若者言葉の新語誕生と変化」『人文科学年報』第 30 号. pp. 63-67
- 長友文子・東悦子・武田文子・横山直子 (2003) 「和歌山大学における「日本語」授業を考える——「にほんのことば・にほんのぶんか 2」の授業実践例から——」『和歌山大学教育学部教育実践総合センター紀要』第 13 号. pp. 63-72
- 米川明彦 (1996) 『現代若者ことば考』丸善株式会社
- 米川明彦 (1998) 『若者語を科学する』明治書院
- 米川明彦 (2002) 「集団語——若者語から業界用語へ」『日本語学』. 第 21 巻第 3 号. pp. 36-44
- 米川明彦 (2006) 「若者ことば研究序説」『月刊言語』第 35 巻第 3 号. pp. 20-25
- 山口仲美 (2006) 『日本語の歴史』岩波新書
- 山口仲美 (2007) 『若者ことばに耳をすませば』講談社

参考ウェブサイト

- 国際交流基金 <http://www.jpf.go.jp/j/japanese/survey/result/index.html> (2015 年 1 月 8 日 最終検索)
- 文化庁 http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/yoronchousa/ (2015 年 1 月 8 日最終検索)